

北海道新聞

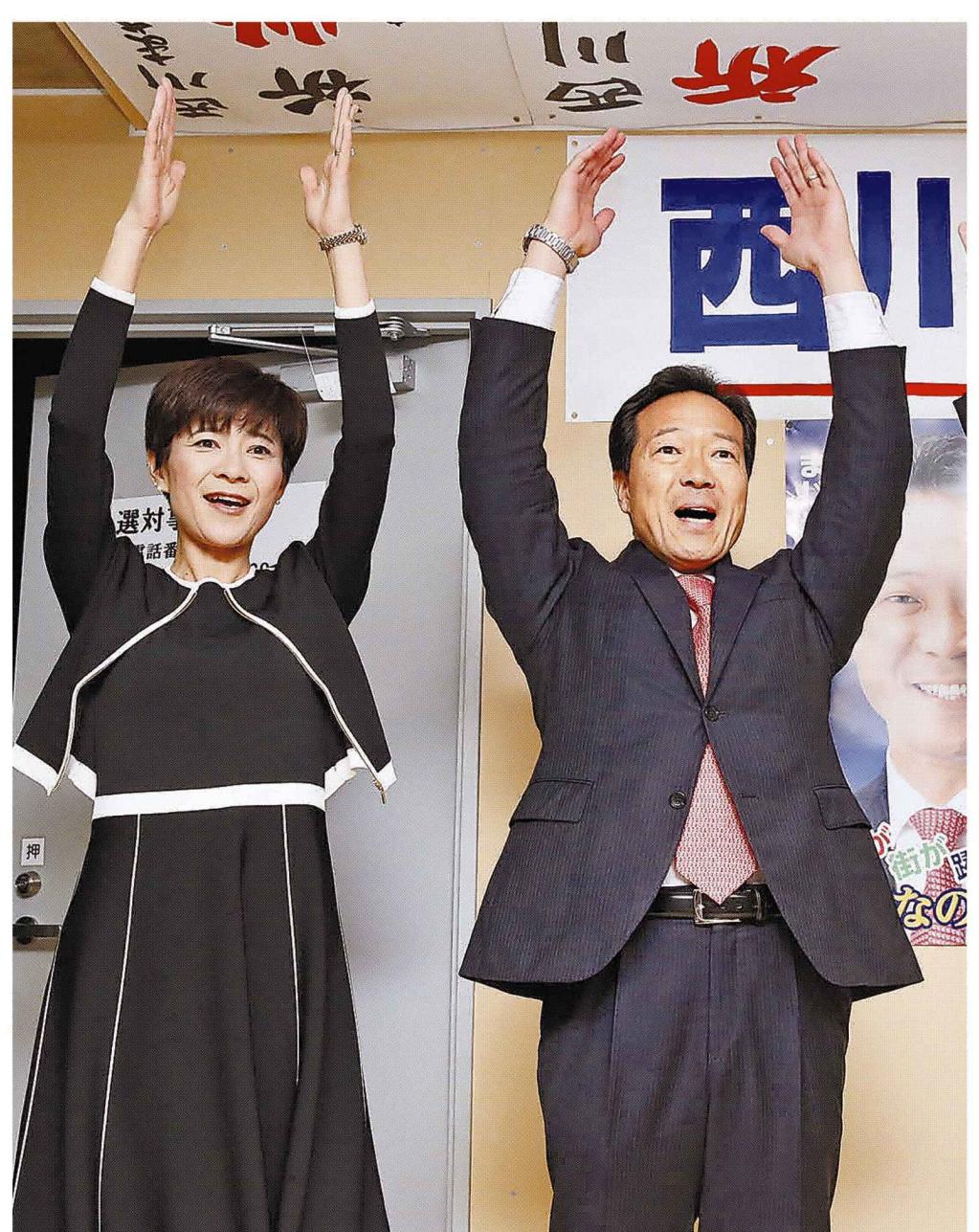
号外

発行所：北海道新聞社

札幌市中央区大通西3丁目6

〒060-8711 電話 : 011-221-2111

旭川市長 西川氏4選



4選を果たし、妻史穂さんと万歳する西川氏（右）＝11日午後8時35分、旭川市4の4の選挙事務所（館山国敏撮影）

にしかわ・まさひと 1968年、旭川市出身。旭川東高、北大卒。日本航空パイロット、医療法人役員を務めた後、2006年の旭川市長選で初当選し、現在3期目。

開票結果

◆旭川市長選 <投票率47.48%>

當 81 329 西川 將人 50 無現

323 四川 有火 33 黑魂
(产地:民主 國民民主 社民推薦)

新編 41 節會津今昔 202 頁 (立憲民主、國民民主、社民推薦)

の推進か白紙撤回かが争点となつた。国政の与野党がそれぞれを推薦する一騎打ちの構図は前回と同じで、来春の統一地方選に向けて組織の力量も問われた。

西川氏は今年4月時点で実現した保育所などの待機児童ゼロや企業誘致といった実績を示し、市民対話を重視してきたと強調。43項目の公約を掲げ、旭川大公立化や市独自の児童相談所

立憲民主や連合北海道などの組織票を手堅くまとめて、現職の知名度を生かして無党派層に浸透。保守圏の一部からも支持を集めた。候補擁立を見送った共産党系の市民団体が今回初めて支持し、野党共闘の強みも發揮した。

一方、今津氏は「若さと行動力、スピード感」を打ち出し「市政の停滞を打破する」と主張。インターネットを積極的に使うなど若

△解説△旭川市長選で現職の西川将人氏が4選を果たしたのは、子育て支援の充実や市民対話を重視してきた3期12年の手堅い市政運営を市民が評価した結果だ。「リーダーシップに欠ける」との指摘もある中、前回より1974票伸びた。ただ投票率は47・48%と有権者の半数に満たず、幅広く市民の信任を得たとは言いがたい。新市庁舎建設などの懸案を抱える4期

本来は自民党を支える保守層の一部からの後押しも受け、共産党系組織の支持層にも着実に浸透した。ただ、課題解決に時間がかかるなど、今回も自民党から「指導力不足」を批判された。若さ、行動力、スピード感をアピールした今津寛介氏の得票には、こうした西川市政への不満も反映されている。

人口減少対策や公立大設置構想、旧西武旭川店跡地

「安定飛行」一定の評価

年層への支持拡大を図った。だが自民党内の調整が不十分なまま立候補した緯や、経済界の一部が西川市政と距離を縮めてきたこともあり、自民支持層を固め切れず「保守市政奪還」を果たせなかつた。無党派層への浸透も限定的だつ

西川氏は午後8時半ごろ、選挙事務所に到着。支持者と固く握手を交わし、「若者が夢や希望を持ち、お年寄りや障害者も安心して暮らせるまちづくりを目指す」と4期目への決意を語った。

西川氏の行政手腕について、元パイロットの経歴から「安定飛行」とも言われる。市長在任12年間で企業誘致15社、保育所などの待機児童解消、旭川空港国際線ターミナルビル整備などを進め、市議会野党からも「失政が少ない」との声が上がる。

選挙戦では、市政刷新により、この「安定感」が有権者者の一定の評価を得た。其盤となる立憲民主党支持層をしつかりまとめたほか、

仕上ける」と訴えたが、その本気度が真に問われる。一方、敗れた今津氏は元衆院議員の父・寛氏の知名度も生かしながら、新市庁舎建て替え計画の白紙撤回、市政刷新を訴えたが、広がりを欠いた。保守層のとりまとめにも難航。前回、自民推薦で出馬した東国幹氏（現道議）より1万票以上減らした。来春の統一地方選へ向け、自民党は戦略の見直しが迫られそうだ。

今津氏に2万6千票差

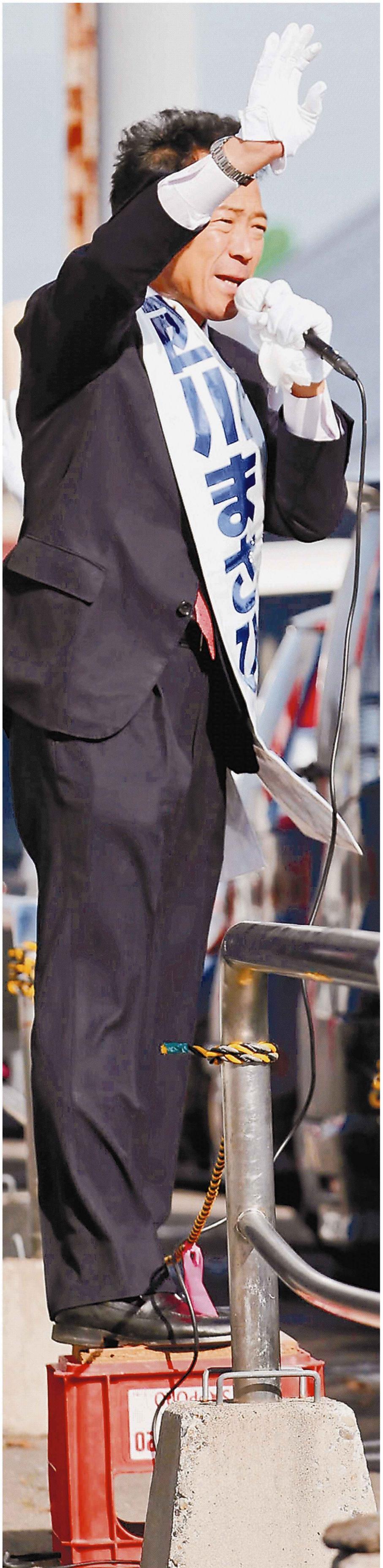
▷ 瞽読申し込み専用電話

0120 - 464 - 104

どうしん電子版

検索

<https://www.hokkaido-np.co.jp>



マチづくり 決意新たに



過去の旭川市長選結果

執行年	候補者	得票数	投票率(%)
1947年 4月	大塚 守穂 佐藤 門治 藤井 敬三 下村 晴二 但木 龜翁	17,069 12,405 4,716 2,374 311	72.79
47年 6月	前野与三吉 田島 豊吉	12,689 9,758	42.79
51年	坂東幸太郎 前野与三吉	31,904 27,649	91.15
55年	前野与三吉 坂東幸太郎 五十嵐久弥	35,788 30,031 3,721	82.95
59年	前野与三吉 武田信之助 木下 源吾 板谷 勇	46,643 27,102 10,693 726	85.99
63年	五十嵐広三 前田 善治 斎藤 二郎	35,194 33,551 32,042	86.33
67年	五十嵐広三 斎藤 二郎	73,162 53,763	84.74
71年	五十嵐広三 森山 元一	89,831 76,343	85.23
74年	松本 勇 佐藤 幹夫	84,167 83,516	80.97
78年	坂東 徹 松本 勇	93,259 88,856	79.99
82年	坂東 徹 山崎 正英	122,404 78,382	82.43
86年	坂東 徹 佐々木秀典 内沢 千恵	110,032 66,412 8,308	72.19
90年	坂東 徹 木内 和博 宮越 弘一	98,246 81,525 7,947	70.69
94年	菅原 功一 波岸 裕光 高原 一記 遠藤 英徳	70,129 48,742 42,807 7,124	61.13
98年	菅原 功一 浅岡好比古 鶴飼 重男	93,254 21,620 3,357	41.21
2002年	菅原 功一 東 国幹 田辺 八郎 鶴飼 重男	60,771 60,544 14,235 1,781	47.27
06年	西川 将人 加藤 礼一 安住 太伸 荻生 和敏 神崎 実	65,033 63,275 17,513 7,739 7,515	54.59
10年	西川 将人 佐々木通彦 安住 太伸	82,992 31,181 29,216	49.33
14年	西川 将人 東 国幹	79,355 65,938	50.43